

# ○令和4年度 学校評価について

保護者に皆様には、お忙しいところ『学校評価』にご協力いただきありがとうございました。今回の結果をご報告いたします。

《児童アンケートより》

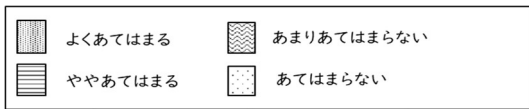
そう思う   
  どちらかといえばそう思う   
  どちらかといえばそう思わない   
  思わない

設問1	自分からすすんであいさつをしている。	61%	31%	7%	
設問2	安全にすごせるように気をつけている。(登下校、廊下の歩行)	64%	33%	2%	
設問3	開始や終わりのチャイム・放送を守って行動している。	61%	33%	6%	
設問4	清掃や奉仕活動に進んで参加している。	58%	34%	7%	
設問5	友だちと仲良く活動しようとしている。	84%	12%	2%	
設問6	にこにこグループでの活動は楽しい。	70%	22%	6%	
設問7	本をすすんで読んでいる。	52%	27%	17%	3%
設問8	授業はわかりやすく楽しい。	62%	33%	4%	
設問9	授業では、自分の考えを進んで発表しようとしている。	44%	29%	17%	10%
設問10	授業では、課題を進んで解決しようとしている。	52%	39%	7%	
設問11	昼休みや休み時間は外で元気に遊んでいる。	54%	20%	16%	10%
設問12	体育の学習や行事では、めあてに向かってがんばっている。	74%	21%	3%	
設問13	給食は好き嫌いなく食べようとしている。	67%	22%	7%	4%
設問14	学校や学級は楽しい。	71%	24%	3%	
設問15	みんなに自慢できることがある。	52%	24%	12%	13%
設問16	学校やみんなの物を大切に使うようとしている。	83%	16%	1%	
設問17	(友だちや先生に)何かをしてもらったら、感謝の言葉が言える。	74%	24%	1%	
設問18	クラスや学校のために役に立とうとしている。	59%	33%	6%	
設問19	ぬいだくつや上ばきをきちんとそろえている。	71%	25%	3%	
設問20	レツスタディデーの日は、ゲームやテレビなどの時間を減らし、勉強の時間にあてている。	53%	34%	6%	7%
設問21	友だちや先生は、自分のことを認めてくれる。	56%	35%	6%	3%
設問22	手洗いや消毒など健康な生活が送れるように心がけている	66%	31%	3%	
設問23	いじめを許さず、誰とでも仲よく過ごそうとしている。	74%	22%	3%	
設問24	タブレットを使った学習は分かりやすく、楽しい。	69%	27%	3%	
設問25	家庭では、お家の人と決めたルールを守って、タブレットを使っている。	63%	28%	6%	3%
設問26	家庭では、宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	56%	34%	7%	3%

## 【アンケートの結果から】

- ・26項目中20項目において、肯定的な評価が90%を越えており、児童の自己評価がとても高い状況です。
- ・『あいさつ』については、肯定的な評価が92%と自己評価が高く、児童はあいさつを進んで行っているという意識をもっています。
- ・『学校や学級は楽しい』という項目は肯定的な評価が95%と高く、学校生活に満足している児童が多くみられます。
- ・『意見の発表』や『休み時間の運動』、『自慢できることがある』などは他と比べると肯定的評価が70%台ともう一歩です。

# 《保護者アンケート》



設問1	学校は、教育目標や方針、必要な情報を分かりやすく知らせている。(P総会、学校・学年だより、保健・給食だより、学校HP・メール等)	49%	46%	4%	
設問2	学校は、お子さんを理解し、保護者の願いや期待に応える努力をしている。(家庭確認訪問、授業参観、懇談会、スクールカウンセラー等)	44%	50%	5%	
設問3	学校は、保護者や地域の方々と協力し、子ども達の安全確保・危機管理に努めている。(消毒ボランティア、感染症対策、地域の見守り隊、緊急メール配信、職員の下校指導等)	55%	41%	3%	
設問4	学校は、保護者や地域と協力して特色ある教育活動を行っている。(地域人材や施設を活用した授業、PTA行事、にこにこグループによる活動等)	38%	53%	7%	
設問5	学校は、ICT機器(タブレット端末等)を活用し、授業や家庭学習を行うことで、教育的効果(興味・関心、基礎学力の定着)を高めようとしている。	38%	46%	12%	4%
設問6	お子さんは、学校やクラスで、安心して楽しく過ごしている。	55%	43%	2%	
設問7	お子さんは、学校の授業で学習した内容をおおた理解している。	24%	64%	12%	
設問8	お子さんは、家庭学習(宿題・読書・自主学習等)の習慣が身に付いている。	17%	57%	22%	3%
設問9	お子さんは、何事にも根気強く取り組もうとしている。(特に掃除・靴磨き・読書等)	17%	49%	32%	3%
設問10	お子さんは、家庭や地域であいさつをよくしている。	28%	52%	19%	
設問11	お子さんは、自分から友だちや家族と関わりをもち、相手の気持ちを考えたり、相手のためになることを行おうとしている。	30%	61%	8%	
設問12	お子さんは、タブレット端末の使用について、ご家庭で決めたルール(場所や時間等)を守って、活用している。	39%	42%	17%	
設問13	ご家庭では、大平南中学区で取り組んでいる学習強調週間やレッツスタディデーの趣旨を理解し、家庭学習の時間の確保に努めている。	30%	52%	15%	
設問15	今後、学校支援ボランティアとして、活動してもよいと思いませんか。	16%	31%	28%	25%

設問14 学校で、特に重点を置いて指導して欲しいこと	ア あいさつや言葉づかいの指導。	112	147
	イ やさしさや思いやりの心を育てる。	118	
	ウ 基礎的な学力を身につける。	102	
	エ 進んで学習や活動に取り組む態度を育てる。	41	
	オ 体力の向上を図る。	50	
	カ 健康や安全に対する意識を高める。	3	
	キ 何事にも粘り強く頑張る気持ちを育てる。	119	
	ク その他(個性の尊重・社会生活の送り方など)	3	

## 【アンケートの結果から】

- ・14項目中6項目について肯定的な評価が90%以上と高く、本校の教育活動に対して多くの保護者の皆様からご理解をいただいています。
- ・「家庭や地域でのあいさつ」については、保護者の皆様のご協力により今年度は肯定的な評価が80%以上となっています。
- ・お子さんの「家庭学習の習慣化」、「何事にも根気強く取り組む姿勢」は肯定的評価が80%以下と低い評価となっています。家庭学習の習慣化では、「学習強調習慣・レッツスタディデーの実施」を通して、小中一貫で取り組んでいます。
- ・毎年、4割近い保護者の方が「学校支援ボランティア」に協力的であり、とても有り難く、心強い限りです。今後多様な形でボランティアにご協力いただければ幸いです。

## ○学校評価における保護者からの意見(自由記述)より

### 【学校経営について】

・クラスごとでなく、学年で教育を統一してほしい。

・教員内で連絡相談を徹底してほしい。抜け落ちが多すぎる。

・通知に間違いがあり、分かりにくい。内容や図の使い回し等はもっとしっかり確認してほしい。

→ 大変申し訳ありません。毎週、学年会を実施し、授業の内容や進度、学年の行事等を確認し、学級間で差が出ないように努めております。ただ、細かな学習方法等については、教員の経験年数の差もあり、取組を全て一致させることは大変難しいと考えております。学年の取組につきましては、授業参加後の学年や学級懇談会でお伝えしております。ご不明な点はその際にご質問いただくか、その都度担任や学校にご連絡いただくことで、改善を図りたいと思います。

外部に発出する通知に関しては、複数の教職員で確認していますが、細かい点で誤記などあり、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。今後、さらに確認を徹底し、内容に間違いのないように努めてまいります。今後、通知等で不備などございましたら、学校へご連絡いただければ幸いです。その場で訂正・修正させていただきます。

・配ったお手紙をアプリでも見られるようにしてほしい。

→ ご連絡ありがとうございます。学校全体に関する通知(下校時刻表や学校だより)については、さくら連絡網にてPDF版をお送りしたいと思います。その他、アプリでの閲覧が必要な通知等ありましたら、ご連絡ください。学校で検討したいと思います。なお、各学年の通知につきましては、兄弟姉妹が多い家庭ですと、回数も多くなり、ご迷惑をおかけしますので、アプリでの配信は控えさせていただきます。もし、紛失等で再度必要な場合は、担任までご連絡ください。再発行いたします。

・下校時刻はあくまでの予定かもしれないが、10分以上帰宅が遅れたことがある。下校時刻どおり下校できないか。

→ 下校が遅れ、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。学校全体で「時間を守って行動する」ことを12月の生活目標とし、下校についても教職員・児童ともに意識して取り組みました。校庭への集合が早くなり、時間どおりに下校することができるようになりました。今後も学校生活で「時間を守る」ことを意識して取り組んでいきたいと思っています。なお、下校時刻は校庭集合完了時刻となっておりますので、少し遅れることもあることをご了承ください。

・不審者情報について、学校からのメールだと数日経ってしまっているが、もっと早く伝えることは難しいでしょうか。

→ ご不便をおかけしております。不審者の情報につきましては、教育委員会への報告→教育委員会から各学校へのFAX連絡→各学校からのメール配信を行っているため、情報提供に時差が生じます。また、全ての内容を市教委から連絡しているわけではありません。学区内の不審者情報につきましては、児童から訴えがあった場合は、必ず「警察署へ報告」をしていただき、その後学校への連絡をお願いします。その場合は、学校からのメールで直接保護者に連絡したいと思います。

なお、不審者の情報について早くお知りになりたい場合は、栃木県警察署「ルリちゃん安全メール」にご登録ください。県内の不審者情報についてメールで配信されます。ただし、配信情報は警察署で選定しており、全てに情報を配信しているものではないとのことです。ご了承ください。

### 【児童指導について】

・学校で起きたこと(友達とのトラブル等)はどちらの親にも連絡はするべきだと思います。

→ ご連絡ありがとうございます。いじめ防止や問題の早期解決のためにも、児童間のトラブルについては、軽微に限らず、できる限り両保護者に伝えるよう学校としても取り組んでいるところです。場合によっては、保護者の方に学校へお越しいただき、指導の経過、家庭での協力等をお話しさせていただくこともあります。保護者の方のご希望があれば、親同士の話し合いも可能です。学校評価では「いじめを許さず、誰とでも仲よく過ごそうとしている」では、96%の児童が肯定的な評価をしています。今後も学校全体として、問題の早期発見・早期解決に努めてまいります。保護者の皆様も学校生活に関する児童の相談は、担任や学校まで早めにご連絡をお願いします。

・放課後の遊び方(帰る時間)などをもう少し学校、家庭で指導して、危険が伴うことを伝えていけたらと思います。

→ 放課後の過ごし方については、「暗くなる前に家に着く」ことを指導しています。夏季は17:00、冬季は16:30を目安に遊びをやめて帰宅することをお伝えしております。学校から帰宅後の児童の行動については、学校で把握することは難しく、保護者の皆様の声かけ、指導が頼りです。ご自分のお子さんに限らず、「地域で子育てすること」を意識していただき、気になることは児童に声をかけていただけるとありがたいです。ご協力の程、よろしくお願いたします。

### 【タブレット活用について】

・タブレットを毎日持ち帰ってくるが、その必要性が分からない。タブレットの重さもあり、月曜日に荷物が重すぎるので分散させてほしい。

・何でもかんでもタブレットがよいとは思えない。例えば、連絡帳代わりに活用されているが、子どもが帰宅しても先生からのメールが来なくて宿題ができないとか、学年が上がると親がタブレットを確認することがないため、宿題の内容まで把握できない。子どものことを信じてあげたいが、メールが来ない、確認していると言いながら、違うものを見ていたりするので、以前のように連絡帳を活用してほしい。漢字や文字を覚えるのにも、鉛筆を持って紙に書かないと覚えられないと強く感じている。

→ ご意見ありがとうございます。今回複数の学級で閉鎖がありましたが、タブレットを持ち帰っていたことで、オンライン授業を実施することができました。また、2日以上学校を欠席する場合、児童の健康上問題がなければ、算数のオンラインによる授業参加を実施しております。

「ランドセルの重さ」の問題については、昨年度より、家庭学習に必要な教科書類は学校においてよいこととしています。ただ、教科書の数冊とタブレット1台の重さを比較した場合には、タブレットの方が重いのは確かです。児童の健康や家庭での使用頻度、タブレットを活用した宿題の有無を考慮し、今後も学年に応じて持ち帰りを実施したいと考えております。なお、タブレットには、e-ライブラリの個別学習支援システムが入っており、自分の学習進度に合わせた学習が可能となっております。できましたら、ご家庭でも声をかけていただき、e-ライブラリの活用を勧めていただければ助かります。

また、「連絡帳」ですが、1・2年生については書く姿勢の確認や正しく黒板の字を写す練習のためにも必要であると考えます。また、学校の準備については、保護者の方の支援もまだまだ必要です。そのためにも連絡帳を書く意義はあります。3年生以上については、保護者の声かけは必要な場合もありますが、自分で連絡を確認し、準備することが自立につながると思います。タブレットによる連絡の時間については、学校で再度検討し、「児童の下校までには連絡をする」ことを徹底したいと思います。

今後も学校のICT活用推進のため、タブレットを有効活用してまいります。学校でのタブレットの活用の現状につきまして、別紙で取りまとめの上、ホームページ等でお知らせいたします。本来であれば、学年や学級懇談会でその活用方法について、事前に保護者の方にお伝えし、家庭での活用についてご理解いただくことが大切ですが、その伝達できておらず、保護者の皆様にはご心配をおかけし、大変申し訳ありませんでした。今後もタブレット活用に関するご質問がありましたら、担任や学校にご連絡をお願いします。

### 【登下校について】

・登下校の旗当番、特に下校時は旗当番が立っておらず、子ども達だけで帰ってくると白線をはみ出している姿や後ろを確認しないで渡っている姿をよく見かけます。

・登校班が2列になっている。

→ 下校指導については、教職員で途中まで見守りを行っていますが、ご自宅までの見守りは出来ないのが現状です。登下校でのトラブルに関しては、ご連絡いただいた当日や翌日に、班を集めて状況の確認、登下校の仕方の指導などを早期に行っております。学校外での出来事については、保護者や地域の皆様の情報が頼りです。今後とも子ども達の安全につきまして、ご指導ご支援をいただければ幸いです。

また、今年度は「見守り隊募集」について保護者の皆様にお知らせし募集を行いました。2名の方の申込みがあり、自治会の見守り隊への加入をしていただきました。来年も保護者の皆様に募集したいと思います。登下校の児童の安全確保については、地域・保護者の皆様の協力が不可欠です。今後も多くの皆様にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

### 【教職員の指導・言葉遣いについて】

・下校時、教員が児童に対して大声で怒鳴っているのを何度かみかけましたが、それはどうしても必要なものか、他の言葉や指導方法はないか。

・教員の子どもに対しての言葉遣い、態度が悪い。先生方の児童に対する叱り方をもう少し考えてほしい。

・先生方の子ども達への言葉遣いを改善していただけたらと思います。親のいない場での先生の態度は子ども達から伝わっています。

→ 大変ご心配をおかけし、申し訳ありません。児童指導で子どもの指導に熱が入り、大きな声や言葉がきつくなる場面もあったかと思えます。学校でも教職員に対する人権意識向上のための研修を定期的実施しております。今回のご意見を教職員一同真摯に受け止め、今後も児童への言葉かけの重要性について研修を実施し、人権感覚・人間性を磨くとともに、一層指導力を高めて、大平南小学校全児童の健全育成に努めてまいります。

## 【マスクの着用について】

・給食における黙食を終了して頂きたいです。大人はマスク無しで話しながら食事会をします。子供はなぜまだ黙食なのでしょう？せめて県内のコロナ警戒レベルが下がった時でも、顔を見ながら、笑いながら給食を食べる、些細な事ですが大きな事だと思います。どうか、大切な児童期の思い出を沢山作らせてあげてください。よろしくお願い致します。

・コロナ禍で、学校の活動が制限されて久しいですが、正直なところそろそろ緩和していってほしいと思います。マスクの着用に関しては、屋外では原則不要となっても多くの児童が校庭でマスクしている姿が見受けられます。よくも悪くも子どもは大人を真似ます。学年が上がるにつれて体裁も覚えてきて、着用している方が体裁がいいという思考になっているんだろうと思います。国の指針で挙げられているような外せる場面で大人が外していかないと、子どもは絶対外さないと思いますし、マスクする=良 マスクしない=良くないことという風潮になってしまうのではないかと危惧しています。しかもマスクの効果については高いエビデンスがあるのならまだしも、これだけ国民みんながマスクをしている日本が、世界一感染者数が多いということも鑑みても、その効果はゼロではないにしても微々たるものではないかと思えます。マスクの弊害も多々あげられています。【正しく恐れる】という事が本当に大切だと思います。どの病気に関しても言えますが、重症化リスクが高い人が各々対策をとればいだけで、かかっても軽症ですむ子どもに一律に同じ制限をかけるのはもうナンセンスのような気がいたします。身体的な理由からマスクが難しい子もいるでしょうし、子どものマスクの扱いは返って不衛生ではないかとさえ思えます。コロナは今後もなくならないと思うので、かかることを恐れて子どもに厳しい制限をかけ続ける事が、果たしていいのかと思います。大人の時代は何十年も続きますが、子どもが子どもでいられる時間は本当に限られています。我が子は学校の楽しい給食を知らないままもう3年経ちます。大人になって子ども時代を振り返った時、楽しい時代だったなあと思ってもらえなかったらとても悲しいです。学校という学びの場で、一人一人が自分で考えて自分で決定していく事、マスクのするしないの判断を他人に委ねずに自分で決定し、その判断を尊重出来る場であってほしいなと思います。感染症については人によって価値観が大きく違うとは思いますが、どうか大人の体裁や責任のためだけでなく、子どもがまんなかの場であって欲しいと思います。

→ ご意見ありがとうございます。学校でのマスク着用については、国や県・市のマニュアルに従って実施しております。最近では、屋外でのマスクは距離の制限はありますが、原則不要となっております。本校でも休み時間など、外で遊ぶ児童は自分の判断でマスクの着脱を行っております。体育の運動時には、マスクを外すよう児童に推奨し、判断は個人に任せております。(命の危険がある場合は、意思を問わず外させる場合があります。)

屋内においては、距離の確保ができ会話をほとんど行わない場合はマスクを外してよいこととなっております。マスク着用の効果については、「感染しない」ためよりも「人にうつさない」ための効果が高いとされています。厚生労働省のホームページには、マスクの具体的な効果が報告されており、児童の安全・安心を守る学校の立場からは児童全員に外すよう指示することはできません。教職員のマスクを外す行為についても、児童を支援・指導する立場から声を発すること、会話することが多く、外すことは難しいと思われれます。また、教職員の感染が確認された場合は、マスクを外しての会話及び児童と関わる時間の長さから、関係児童のPCR検査の実施を行っているところです。それだけ教職員の感染には、細心の注意を払っており、教職員が進んでマスクを外し会話することは難しいと思われれます。

ご意見にあるように「感染症に対する価値観は人によって大きく違う」こと、児童によっては、「喘息等の基礎疾患があり、感染することで重い症状になる場合もある」ことも考慮していただきたいと思えます。給食の時間についても「マスクを外して会話をしてよい」との一部報道により、「全面的なマスク解除」を思わせるような雰囲気になっておりますが、県のホームページでも「会話する=マスクする」と謳っており、会食時の会話におけるマスク着用を推奨しています。また、先日(12/22付け)の新聞記事には、県校長会長の説明として「県内の感染状況を踏まえるとすぐに会話解禁とは切り替えられない。」と掲載され、下野市や那須町教委などは、黙食の継続の方針を各校に伝達しています。以上のような点から、現状、県内の感染拡大が懸念されている中、やはり「場面に応じた適切な着脱」を実施していくことが望ましいと考えております。

※今年度もスマホによる学校評価を実施させていただきました。おかげ様で、集計も簡単に素早く行うことができました。その結果、学校評価の考察や皆様の様々なご意見への回答を1月に行うことができました。ご協力ありがとうございました。皆様からいただいた意見を真摯に受け止め、学校運営を改善してまいります。

今後とも本校教育にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。何かありましたら、教頭 石川 までご連絡ください。